PVリサイクル.com® レポートのご紹介

太陽光パネルリサイクルの実態
～公開資料による独自調査と分析事例～

太陽光パネルの廃棄・リサイクルを取り巻く背景

2012年に導入された固定買取価格制度（FIT制度）により、全国で急速に太陽光発電設備の導入が進む一方で、地域社会や環境との調和など、再生可能エネルギーの持続的な普及に向けた課題も顕在化しています。

これらの太陽光パネルは将来的に撤去・廃棄が懸念されており、最新の推計によれば2030年代半ばから増加し、最大50万t/年程度まで達すると見込まれています。 大量廃棄への対応に向けて行政や研究機関、民間企業などにより技術開発が行われており、リサイクル環境の構築が全国で進められています。

一方で、これら取組みに関する実態や最新情勢は、メディアなどでは網羅的に報じられておらず、SNSを始めとして古い情報や一部では誤った情報も氾濫しています。

本レポートの特徴

本レポートでは、太陽光パネルリサイクルの総合情報サイト「PVリサイクル.com®」で発信している情報等を整理し、各種の公開情報やデータを基にした分析事例の紹介、これらの事実から浮かび上がる課題と対策を提案しています。

【本書の特徴】

太陽光パネルのリサイクルに関する実態と課題の本質を、体系的に把握できる内容となっています。

- ◆太陽光パネルのリサイクルに関する「最新情報」を「網羅的」に紹介
- ◆時系列や関連性などを理解できる内容構成
- ◆豊富な図表や分析事例、添付資料、情報源（引用元）の紹介

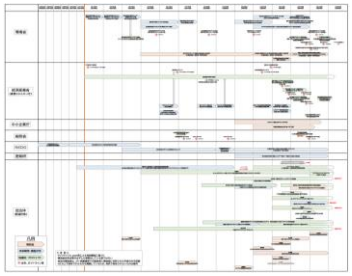
【こんなお困りごとを解決】

- ◆網羅された最新情報、時系列的に整理された情報を入手したい方
- ◆情報収集に時間や労力をかけられない方
- ◆セミナーや展示会では、似た様な情報しか得られないと感じている方
- ◆自分で市場分析を実施したい方

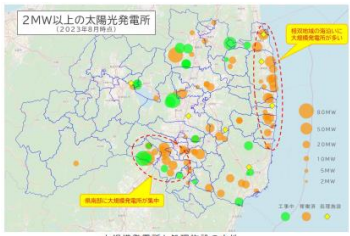
内容構成

はじめに
1章.太陽光パネルのリサイクルに関する実態
1.1 太陽光発電設備の導入実績と将来の導入目標
1.2 将来の排出量予測と推計方法に関する課題
1.3 使用済太陽光パネルの排出に関する実態調査
1.4 政府・自治体による取組みの全体像
1.5 政府による「太陽光発電設備のリサイクル」に向けた対応
1.6 省庁・研究機関による取組み
1.7 地方自治体による太陽光パネルのリサイクルに関する取組み
1.8 企業の動向～リサイクル技術・開発動向、リサイクル施設の導入状況～
2章.太陽光パネルの構造、ライフサイクルでの環境影響
2.1 太陽光パネルの構造・含有物質
2.2 太陽光パネルに含まれる『銀』
2.3 太陽光パネルのガラスリサイクル
2.4 太陽光発電の資源利用量と環境への影響
3章.FIT認定情報による各種分析
3.1 公開されているFIT認定情報の活用
3.2 太陽光発電設備の導入状況と排出量推計
3.3 FITによる太陽光発電の導入状況の分析
3.4 将来の廃棄・リサイクル市場規模の推計
4章.地域別に見る分析事例
4.1 福島県の導入状況と処理施設の立地検討
4.2 処理施設の必要数と立地がCO2排出量に与える影響～三重県の事例～
4.3 南海トラフ地震での津波浸水想定エリアの太陽光発電設備
5章.課題の整理とブレイン・ストーミング
あとがき

分析事例サンプル



太陽光パネルのリサイクル技術に関する国内特許出願状況（2024年12月末時点）



大規模発電所と処理施設の立地

基本情報／ご購入方法

発 刊 日　第2版 2025年2月9日（初版 2024年2月6日）
商品形態　本文：64頁（表紙等含む）／添付資料：56頁
A4サイズ、PDF形式
商品番号　MKP-008v2

販売価格　定価：33,000円（税込）
購入方法　ECサイトでの販売
https://mk-and-partners.stores.jp/

その他詳細は、WEBサイトからご確認ください
https://www.pv-recycle.com/report-v2

問合せ先　PVリサイクル.com®
info@pv-recycle.com
https://www.pv-recycle.com/